

第2回 泉中央エリアまちづくりミーティング【開催レポート】

発行：泉区泉中央地区活性化推進室

泉区では、泉中央地区の魅力をさらに高めていくため、区役所の建替えにあわせて、区役所から七北田公園までの南北の軸を中心としたエリアのまちづくりを進めていくこととしています。

本ミーティングでは泉中央エリアでの活動事例や他地域でのまちづくり事例を紹介しながら、泉中央エリアのまちづくりについて意見交換を行いました。

日時 令和7年3月20日（木・祝） 14時～16時
会場 七北田公園都市緑化ホール
参加者数 約50名



内容

開会

【泉区副区長 大黒雅隆】

- ・泉中央エリアでは、建物や都市基盤の老朽化、バスターミナルや周辺道路の混雑が課題となっている。さらに、アリオの閉店により地域の求心力低下も懸念されている。一方で、同エリアには区役所をはじめとする公共施設が集積しており、建て替えに伴う広場整備や、区役所敷地東側の民間施設開発、アリオ跡地の新たな土地利用の展開も考えられている。
- ・これらの要素を生かし、賑わいを創出するためには、行政と区民の連携が重要であり、特に地域住民が主体となるまちづくりが求められている。
- ・本日の議論を踏まえ、泉中央エリアの将来像の実現に向けて、行政と地域が協力して取り組んでいくので、引き続きご協力いただきたい。

泉中央エリアの賑わい創出に向けた検討経緯

【泉中央地区活性化推進室長 熊谷和典】

- ・泉区役所は老朽化に対応するため、令和3年度に事業者を公募、令和4年度に基本計画を策定し、令和5年11月に造成工事を開始した。今年1月には本体工事が着工し、新庁舎は泉中央駅と地下通路で直結する計画である。敷地中央に約3,000㎡の広場を整備し、東側には民間施設2棟を建設することで、地域の核としての役割を強化する。新庁舎は令和8年10月末に竣工予定で、その後、広場と街区全体の整備を進め、令和11年度の完成を目指している。
- ・仙台市はこの事業を契機に、泉中央エリアの活性化を図っていく。区役所や駅前商業施設、おへそ広場、七北田公園の3つの拠点を結び、南北の賑わい軸を形成し、エリア全体の活性化を進めたいと考えている。
- ・令和4年度から地域関係者との意見交換会を開催し、令和5年度には学生ワーキングを実施した。昨年6月には「泉中央エリアの目指す姿」を整理し、本年度より「エリアビジョン」の検討を開始した。7月にはワーキンググループを設立し、1月からはエリアマネジメント組織の準備会を発足

した。

- ・本日のミーティングでは、エリアビジョンの原案を共有し、今後のまちづくりについて意見交換を行い、地域とともに活性化を進めていく。

パネルディスカッション

【登壇者】

コーディネーター	(特非) 都市デザインワークス代表理事	榊原 進 氏
コメンテーター	(一社) エリアマネジメントラボ理事	堀江 佑典 氏
パネリスト	泉中央駅前地区活性化協議会	田中 秀夫 氏
	七北田公園の魅力づくりに関する検討会	中堀 雄介 氏
	仙台市泉中央駅前まちづくり推進コンソーシアム	米今 大貴 氏
	泉区泉中央地区活性化推進室	熊谷 和典 室長

会場の皆様から、Slido を用いてリアルタイムで質問やご意見をいただいた。

榊原氏 ・今年度検討したエリアビジョン原案の概要について私の方から説明したが、イメージパスについてパネリストから補足いただきたい。

米今氏 ・区民広場のパスは多くの人で賑わう様子を表現しており、区民ホールと一体的に活用



されている様子やキッチンカーが導入されている様子を描いている。また、休日のイベント利用と平日日中の居場所としての姿の両方を意識している。

田中氏 ・おへそひろばにビジョンを設置し、サッカーの試合やイベントを楽しむことができる様子を描いている。また、ペDESTリアンデッキでのイベントが増え、歩くだけで楽しめる空間となっている様子も表現している。

中堀氏 ・七北田公園とユアテックススタジアムの間を往来しやすくするためには、デッキの設置が望ましいと考えているので、理想の形として描いている。また、泉ヶ池の上にカフェが設置され、日常の中で非日常を楽しむことができる様子表現している。そのほか、桜があって花見スポットとなっている様子や、屋内遊び場がある様子も描いている。

堀江氏 ・パスからは泉中央エリアの資源を物理的・心理的につなげることを目指しているのがよく伝わってきた。また、パスを作成したことで、まちづくりの指針を明確にすることができたと感じる。

榊原氏 ・エリアビジョン原案では、拠点ごとに取り組むべき内容をアクションアイデアとして取りまとめた。拠点ごとに特に注力したい内容について、パネリストからコメントいただきたい。

田中氏 ・泉中央駅前地区活性化協議会では既に様々なイベントを実施している。実行委員を務めている泉マルシェはペDESTリアンデッキのみで行われているが、区民広場や七北田公

園とも連携できると良いと考えている。また、いずみハロウィンも地域全体で一体的に取り組むことができれば、より良いイベントになると思う。

中堀氏 ・ プロスポーツクラブと連携した取り組みは泉中央ならではのと思う。ユアテックスタジアムの指定管理者がベガルタ仙台を中心とした共同企業体に移行することを転機として、さらに公園の利活用を推進したい。

米今氏 ・ 区役所の街区とペDESTリアンデッキの間にある泉中央幹線2号線が心理的・物理的に障壁になっていると思うので、いかにエリアと一体化させるかが重要かつ工夫が必要なポイントと考える。

熊谷室長 ・ 泉中央エリアの賑わいや活性化を図る上で、3つの拠点それぞれが同じ方向を向いて、エリアの回遊性や魅力を高めることが重要と考える。今回検討したエリアビジョン原案が将来的に有効なツールになると思う。

榊原氏 ・ これまでの感想と参考になる事例があれば、ご紹介いただけないか。

堀江氏 ・ 感想としては、アクションアイデアが具体的に示されていて、地に足がついたものとなっているのが良いと感じた。また、プロスポーツのスタジアムがあることは泉中央にとっての大きな資源かつ特徴であると思う。

・ 昨年のまちづくりミーティングの講演では、地域主体のまちづくりについてお話しした。地域主体のまちづくりを進めるためには5つのステップがあり、泉中央エリアは今2つ目のステップ「共有ビジョンを描き、共通言語化を図る」にあると思う。今後ビジョンをアクションとして実行していくにあたり、地域連携の体制構築が重要であると考えている。

・ 事例として、埼玉県さいたま新都心を紹介したい。大宮駅の南側に位置し、2000年まちびらきが行われた。さいたまスーパーアリーナや行政施設、商業施設などがあり、ペDESTリアンデッキでつながっている。まちびらきと同時に、まちづくり推進協議会が設立され、主に施設管理について活動していた。その後、公共空間の役割が変化し、新たな活用方法を模索する必要が出てきたため、ワークショップや勉強会を重ねた。また、社会実験として駅改札前にロングテーブルを設置し、新しい交流の場を創出する試みやキッチンカーの出店やマルシェなどのイベントを試験的に行い、地域活性化の可能性を探った。

・ このようにまちづくりは試行錯誤を重ねながら進めるものであり、地域主体の取り組みが重要である。泉中央においてもビジョンの実現に向けた具体的なアクションを積み重ねることが必要と考える。

榊原氏 ・ さいたま新都心は共通項が多く、参考になる事例であった。

・ 次に、宮城大学平岡研究室の4年生が泉中央エリアをテーマとして卒業制作に取り組んだ。内容についてご発表いただきたい。

(宮城大学平岡研究室 4年 澁谷さんより発表)

榊原氏 ・ 次に、パネリストの皆さんから今後の進め方についてコメントいただきたい。

田中氏 ・ 3つの拠点はそれぞれ物理的にも距離があり、情報交換が十分にできていない。区役所

の新設など環境が変わる中で、3つの拠点に加えてベガルタ仙台やイズミティ 21 などエリア内の関係者も交え、関係者で定期的に情報交換を進めていきたい。

- 榊原氏 ・ 3つの拠点で活動される皆さんとベガルタ仙台やイズミティ 21 の関係者にも参加いただき、コアとなる組織を立ち上げて検討を進めていくということで理解した。
- 米今氏 ・ 今後泉中央に関わる立場として、エリア全体で情報交換・共有ができる場があると非常にありがたい。
- 中堀氏 ・ 話し合いを重ねる中で、3つの拠点はつながった方が良いと強く感じた。今後も七北田公園を軸に泉中央のまちづくりに貢献していきたい。
- 榊原氏 ・ エリアビジョン原案の検討に後半より参加いただいた、ベガルタ仙台武市氏も本日会場にいらっしゃるのでコメントいただきたい。
- 武市氏 ・ ベガルタ仙台はユアテックススタジアム仙台の指定管理者として選定いただいた。2025 年 4 月よりベガルタ仙台を含む 5 社による共同企業体により管理運営を行なっていく。
- ・ 今後期待されることとして、ホームゲームの影響を七北田公園全体や周辺エリアに波及させること、試合日以外のスタジアムの活用と考えている。共同企業体内でも連携し、健康増進イベントや教室の開催、区とのイベント連携等を強化し、365 日賑わいのあるスタジアムと公園の一体活用を目指していきたい。
- 榊原氏 ・ 今後の進め方について、熊谷室長・堀江氏からもコメントいただけないか。
- 熊谷室長 ・ 今後の行政の関わり方として、民間事業者の取り組みの連携先としての役割、取り組みの運営面での支援があると考えている。行政との連携は時間がかかることもあるが、一部は中期や短期で実現できるように取り組んでいきたい。
- 堀江氏 ・ エリアマネジメントの視点から言うと、連携は一朝一夕には進まない。これまで関わった事例を分析して、地域への関わり方は 3 つに分類されると考えている。企画や調整役を担うマネージャータイプ、イベント出店など特定の場面で関わるスポットプレイヤータイプ、直接まちづくりに関わらないが日常的に地域をさせるグッドユーザーの 3 タイプである。また、官民連携だけでなく、民民連携も重要である。様々なスキルを持つ人が集まることで、より良い取り組みが実現できる。
- ・ エリアマネジメントの視点では、管理すべき要素として「場所」「人材」「時間」の 3 つがあげられる。泉中央でも、まず 1 ～ 2 年のスモールスタートから始め、コアメンバーで推進しながら人を巻き込んでいく形が望ましいのでは。

(会場からのコメント、Slido に寄せられたコメントの紹介)

- 榊原氏 ・ これまでの検討に継続して関わられた宮城大学の平岡先生が会場にいらっしゃるので、コメントいただきたい。
- 平岡氏 ・ 本日は学生が発表の機会をいただき、ありがたい。感想として 2 点お伝えしたい。1 つは大学生や高校生がまちづくりに関わる機会が増えると、より多様な考えが生まれと思うので、プレイヤーやサポーターとして参加できるようになると良い。2 つ目は、泉中央の都市計画は 40 ～ 50 年前の設計で、周辺エリアも含めて状況が大きく変わっているので、ソフトの取り組みとも連動しながらハードの見直しも進めていく必要があると感じた。

- 榑原氏 ・ 大学生や高校生のまちづくりへの関わりについて、どなたかご意見いただけないか。
- 中堀氏 ・ ちょうど大学生から七北田公園でモルックの大会を開きたいという申し出があったところだ。泉区と相談し、地元の6大学を交えた形での実施を検討し始めている。公園の役割である多くの人々が活躍できる場所を目指し、方針の検討を進めている。
- 米今氏 ・ 泉区内の他エリアで宮城大学と連携している。泉中央エリアでも学生の意見を聞きながら、まちづくりを進められると良い。
- 榑原氏 ・ 最後にパネリストから一言ずついただきたい。
- 田中氏 ・ 泉中央エリアでは既に動いている活動があるが、今後の七北田公園での活動や区役所の新設も楽しみである。本日いただいた意見を参考にしながら、泉中央エリアを盛り上げていきたい。
- 中堀氏 ・ 推進体制を構築する際に大切なのは柔軟な組織体制であることと思う。今後も七北田公園を軸に泉中央、仙台市全体のまちづくりに貢献できればと思う。
- 米今氏 ・ 本日いただいたご意見を踏まえ、泉中央エリアを盛り上げていきたい。新庁舎の開発を着実に進め、みなさまの期待に応えられるよう努力していくので、引き続きご支援いただきたい。
- 熊谷室長 ・ ビジョンを絵にしたことで、意見を整理し、議論を深めるきっかけになったと思う。地域との連携を進めていくことは今後の活動においても重要なので、地域の皆さまと一緒に取り組んでいきたい。
- 堀江氏 ・ 先ほど中堀氏が話されたように、今後は柔軟な体制作りが必要と感じている。そのためにもまちづくりビジョン原案を作成されたと思うので、ひたすらアクションを起こしていくことが重要と思う。
- ・ まちづくりを進める上での課題は、地域の方がまちに無関心であることと思う。本日多くの方がミーティングにご参加いただいたことはまちへの関心の表れと思うので、今後もサポーターとして意見やアイデアを投げかけていただければと思う。
- 榑原氏 ・ 熊谷室長も話されていたが、ビジョンを絵にしてみることが良かったと感じている。絵にすることで、夢や妄想も含めた形で示し、地域の皆さまに関心を持ってもらうきっかけが作れたと思う。
- ・ 今後は柔軟に情報を共有し、積極的に関わりたい方とも一緒に話し合いながら進めていくことが次のステップにつながると思う。来年1年の成果を第3回目のまちづくりミーティングでご報告できればと良い。

参加者からの意見、アンケート結果

1 会場からの質問

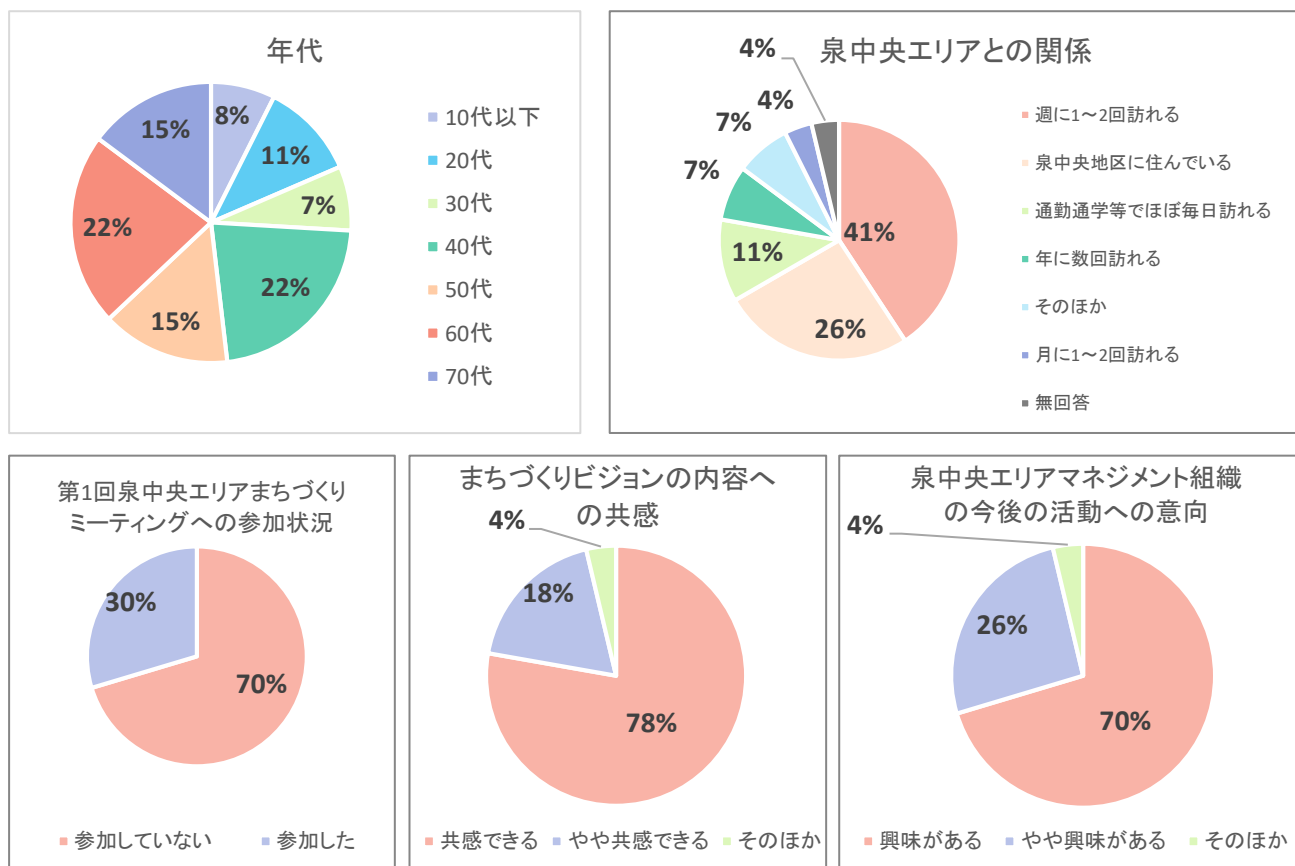
パネルディスカッション時、Slido を用いてリアルタイムで質問やご意見をいただいた。

（※内容を一部要約しています）

- ・スポーツなどのパブリックビューイングができる映画館や会員制のラウンジなど長時間滞在できる施設を泉中央駅周辺のまちづくりに取り入れるのはどうか。
- ・アリオが閉店して、人流が分散している印象を受ける。それを再度引き寄せるためには魅力的な場に加えて、移動手段（バスの他、シェアサイクルや電動キックボール等）の整備も必要かと思うが、考えられていることはあるか。
- ・泉中央駅を南に出てすぐの交差点（ファミマとかがある）も、人通りを止めている側面があると思うが、賑わい軸の構想で何か施策は検討されているのか。
- ・区役所の民間施設の内容が決まらないと、アリオ跡地の活用が決まらないのではないか。また、賑わいを生むよりも地域の方の居場所の確保を優先すべきではないか。

2 アンケート結果

まちづくりミーティング終了後、「まちづくりビジョンの内容への共感度」「泉中央エリアマネジメント組織の今後の活動への参画意向」等についてアンケート調査を行った。



以上